オーストラリアの生活情報

**■ 生活**

《交通機関》

オーストラリアにバス、電車、フェリー、モノレールなど、多くの公共交通機関があります。都市や場所によって便利なものが異なりますが、どの都市でもよく使われているのがバスです。日本のように社内アナウンスをしてくれないので、最初は間違わないようにアプリなどを使うか、運転手にあらかじめ降車駅を伝えるようにしましょう。シドニーではバス、電車、フェリー、ライトレールで共通して使えるICカード「オパールカード」を使うことができます。

**■ 医療**

《病院》

日本では怪我や病気の症状で病院・医院を選んで受信しますが、オーストラリアでは体調の異変を感じたらまずGP(General Practitioner)と呼ばれる一般開業医を訪れます。予約なしで受診してくれるところもあれば、予約が必要なところもあります。診察もしくは治療後、必要であれば処方箋を書いてもらい、それを薬局(Pharmacy)に持って行き、薬を購入します。GPでは対応できない症状や特別な処置が必要な場合は、専門医(Specialist)への招待状(Referral Letter)をGPに書いてもらい、予約を取って専門医を訪ねましょう。各専門医の検査機関での結果は、すべてGPと共有することができるので、「かかりつけ医」のような感覚で自分が頼れるGPを決めておくと良いでしょう。

《保険》

オーストラリアでは、市民権・永住権を持つ人向けの公的医療制度メディケア(Medicare)と、市民権・永住権を持たない人の医療費や、メディケアがカバーしない範囲の治療や入院・手術費を補うための保険である民間医療保険があり、留学生用健康保険OSHC(Overseas Student Health Cover)もここに含まれます。一時滞在の場合は海外傷害保険などに加入していただくのが一般的ですが、補償内容は会社やプランによって異なるので、自分に合ったものを選ぶようにしてください。

***■ お金***

《通貨》

オーストラリアの通貨は、オーストラリアドル (AUD: Australian Dollar)です。基本的にオーストラリア国内でのみ利用可能です。

コイン：5セント、10セント、 20セント、50セント、1ドル、2ドル

紙幣：5ドル、10ドル、20ドル、50ドル、100ドル

《銀行》

ANZ（Australia and　New　Zealand　Banking　Group）

WESTPAC（Westpac　Banking　Corporation）

NAB（National　Australia　Bank）

CBA（Commonwealth　bank of Australia）

《クレジットカード》

オーストラリアはクレジットカード普及率が高いため、レストランやスーパーなど、多くの店舗でクレジットカードを利用することが可能です。また、身分証明書や支払い能力の証明としても認識されているので、必ず持って行きましょう。

使用できるクレジットカードの国際ブランド：VISA、マスターカード、アメリカン・エキスプレス・カード、JCB、ダイナースクラブ

**■ 電話**

予期せぬトラブルが発生した、クレジットカードを紛失したなどの緊急事態のための連絡先一覧です。

いざという時に慌てないで済むよう、いつもしっかり備えておきましょう。

《市外局番》

シドニー … 02

メルボルン … 03

ケアンズ・ブリスベン … 07

パース … 08

《電話》

24時間対応緊急連絡先

警察・消防・救急 … 000

電話通訳サービス … 13-1450

《公衆電話の使い方》  
左お写真は、町で一番よく見かけるタイプのテルストラ社の公衆電話です。通話料金は50セントから。コインでもかけることができますが、国際電話や相手が携帯電話の場合は、専用テレフォン・カードを用意する方が良いでしょう。テレフォン・カードはコンビニなどで購入可能です。

《国際電話》

★）オーストラリアから日本かけるとき (日本の国番号は『81』)

0011 – 国番号(81) – 市外局番（最初の0をとる）- 電話番号

★）日本からオーストラリアかけるとき (オーストラリアの国番号は６１)

001 – 国番号(61) – 市外局番（最初の0をとる）- 電話番号

**■ インターネット**

《回線速度》

オーストラリアではADSLなどのブロードバンド回線が主流となっています。最近では光ファイバー回線も利用できるようになりましたが、まだまだ利用できる地域が限られているのが現状です。オーストラリアのADSL回線速度は、2MBps～8MBpsくらい。日本のADSL回線速度は50Mbps～100Mbpsくらいなので、日本の回線と比べるとかなり遅いと感じてしまうと思います。

《無料WIFIスポット》

オーストラリアでは、屋外に多くの無料WIFIスポットが設置されています。図書館、ファーストフード店、カフェ、ショッピングセンターだけでなく、個人店でも無料のWIFIが用意されていることがあります。利用に関するルールは店舗ごとに異なっていて、スタッフにパスワードを教えてもらったり、レシートに記載されているパスワードが必要だったりする場合があり、時間や使用データ量などに制限があることもあります。

（IMG）

**■ ライフスタイル**

《食事》

国内生産品、輸入品ともに、オーストラリアでは豊富な種類の食材が売られている。スーパーマーケットや市場には、エンダイブやフェンネル、セロリアック、アーティチョークといった日本人にはなじみの薄い野菜から、シイタケやえのきだけ、白菜のような日本やアジアの食材もそろいます。

様々な文化背景や宗教の人が共に暮らすオーストラリアでは、街の中に多種多様なレストランが並ぶ風景もまた日常です。遠くまで足を延ばさなくても、イタリア、中国、タイ、マレーシア、韓国、日本など、本格的な各国料理を気軽に食べることができる。個人の自由を尊重するお国柄であることからも、食の選択肢は非常に多く選択されている印象です。

《カフェ》

カフェ文化が盛んと言われるオーストラリア。どの街に行っても、いたるところにカフェがあり、おいしいコーヒーやドリンク、スイーツを楽しむことができます。オーストラリアのカフェ経営の特徴は、何と言っても家族や個人で経営する独立型カフェが圧倒的に多く、全店舗の約9割を占めていることでしょう。オーストラリアのコーヒーは、イタリアンスタイルの「Espresso（エスプレッソ）」をベースに、ミルクなどを組み合わせて提供されます。（図参照）

（IMG）

世代や住んでいる場所によってもコーヒーの味の好みが分かれるようで、カフェラテは一般的に女性、フラットホワイトは年配者、エスプレッソはシドニー中心部の男性、カプチーノはシドニー郊外の人に好まれているようです。「オーストラリアの朝はコーヒーから始まる」とも言われるだけあり、多くのカフェが朝6時ごろからオープンしています。

《大使館》

在オーストラリア日本国大使館：

112 Empire Circuit, Yarralumla ACT 2600, Australia

領事館：

シドニー（<https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/index_j.htm>）

パース（<https://www.perth.au.emb-japan.go.jp/jp/index.html>）

ブリスベン（<https://www.brisbane.au.emb-japan.go.jp/jp/index.html>）

メルボルン（<https://www.melbourne.au.emb-japan.go.jp/index_j.html>）

ケアンズ（<https://www.brisbane.au.emb-japan.go.jp/jp/about/cairns.html>）